

《学校の様子》

生徒会 能登半島地震への募金活動・第2弾 2月6日(火)

1月29日～31日、生徒会は令和6年能登半島地震で被災された方への募金活動を校内で行いました。生徒だけでなく、保護者の方や教職員からも、たくさんの温かい気持ちが届けられ、その金額は81,055円に上りました。また、第2弾として、2月6日(火)にはマツヤスーパーにて募金活動を行いました。40分ほどの時間でしたが、買い物に来られた地域の方々から「お疲れ様です」等の温かい声とともに、28,172円という、たくさんの募金をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。なお、お寄せいただいた募金は日本赤十字社を通して被災地に届けさせていただきました。



2年・心理授業 2月13日(火)

「共存」をテーマに、スクールカウンセラーの大平先生に2年生の各クラスで心理授業をしていただきました。先生の話をもとに、みんなが機嫌よく居られる人間関係について考えました。1年生は1学期に、3年生は2学期に、同じテーマで、大平先生からお話を聞いています。望ましい人間関係のイメージとして、「いろいろな種類の魚たちが一緒に泳いでいる水族館の大水槽」を挙げ、お話ししていただいたことを覚えていますか。1・3年生も大平先生の話思い出して、日常生活に生かしていきましょう。



【夢プロ】「花の種」配布

晴嵐支所、富士見支所、本校事務室で配布しています

1月28日(日)の晴嵐ふれあいマラソンの会場に続き、2月17日(土)の富士見学区区人推協講演会で、花の種を配りました。イベントに参加できなかった方にもお届けできればと思い、晴嵐・富士見両支所のご協力のもと、支所にも花の種を置かせていただきました。また、本校事務室でもお渡しできます。ご入り用の方は、ご自由にお持ち帰りください。花と一緒にたくさんの笑顔が地域に広がることを願っています。花の種は、「コスモス」「百日草」「風船かずら」の3種類です。



子どもの意見交流会 2月19日(月)

第3期大津市教育振興基本計画が令和6年度で最終年度を迎えることから、次期計画の策定に当たって、こども基本法をふまえ、子どもの意見を聴取するとともに、子どもが自らの学びや学校生活等について考える機会とすることを目的に、「子どもの意見交流会」がオンラインで開催されました。本校からは生徒会長・副会長の計3名が出席をし、「みんなが楽しく通える学校ってどんな学校だろう？」をテーマに、栗津中学校、膳所小学校、晴嵐小学校、富士見小学校の代表と意見交流をしました。参加者からは自分や周りの人のことを考えた素敵な意見がたくさん出て、大変貴重な時間となりました。



第3回学校協力者会議 2月29日(木)

今年度最後となる第3回学校協力者会議を開催しました。委員の皆様にご各クラスの授業を参観していただき、その後、意見交流をしました。また、今年度の学校評価を確認するとともに、今後の改善策について報告しました。今後もよりよい学校運営に向けて取り組んで参ります。ご協力ありがとうございました。



うれしい電話

2月13日(火)、晴嵐幼稚園から、うれしい電話をいただきました。北大路中学校の生徒が、幼稚園の保護者が落とされた名札を拾って、手紙を添えて幼稚園のポストに届けてくれたとのことでした。名札の持ち主は、大変喜んでおられたそうです。困っている人に対してとった、これらの行動をたいへん素晴らしいと思います。人を思いやり、大切にできる「おおらかな心を持つ生徒」の具体的な姿の一つです。

めざす生徒像

基礎基本を大切に
生徒
き た お お じ
き 基礎基本を大切に
た たくましく成長する
お おおらかな心を持つ
じ 自主力行に励む生徒